



2021年12月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFiO (氏名) 若原 智広 TEL 03 (3453) 4907
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第4四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第4四半期	23,291	-	△3,962	-	△3,656	-	△2,431	-
2020年9月期	13,317	△8.0	△1,807	-	△1,457	-	△1,486	-

(参考) 調整後EBITDA 2021年12月期第4四半期 1,025百万円 (-%) 2020年9月期 △732百万円 (-%)

(注) 1. 包括利益 2021年12月期第4四半期 △3,233百万円 (-%) 2020年9月期 △1,483百万円 (-%)

(注) 2. キャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当社のキャッシュ・フロー創出力を示す指標として調整後EBITDAを開示しております。調整後EBITDAの定義、計算方法につきましては、「3. 2021年12月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年12月31日）」をご覧ください。

(注) 3. 2021年8月26日付で決算期（事業年度の末日）を毎年9月30日から12月31日に変更するための定款一部変更を行っており、決算期変更の経過期間となる当期は2020年10月1日から2021年12月31日までの15カ月間の変則決算となります。このため、2021年12月期第4四半期の対前年同四半期増減については記載しておりません。なお、2021年12月期第4四半期連結累計期間に対応する前年同一期間（2019年10月1日～2020年9月30日）の売上高と当第4四半期連結累計期間の売上高を比較した調整後増減率は74.9%となります。

(注) 4. 2020年9月期については、通期の数値を記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第4四半期	△24.12	-
2020年9月期	△16.00	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第4四半期	64,065	22,186	34.0
2020年9月期	15,351	9,386	61.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第4四半期 21,800百万円 2020年9月期 9,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	-	0.00	-	-	0.00	0.00
2021年12月期	-	0.00	-	-	-	-
2021年12月期（予想）	-	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	—	—	—	—	—	—	—	—

（参考） 調整後EBITDA 2021年12月期 650百万円

2021年12月期の業績予想は、売上高と調整後EBITDAの2つを公表いたします。調整後EBITDAは、EBITDA（＝営業利益＋のれん償却費及び減価償却費）＋助成金収入＋株式関連報酬＋棚卸資産ステップアップ影響額、として算出しております。

当期は、2021年6月30日をみなし取得日として連結子会社化したキューサイ株式会社（以下「キューサイ」）において、連結子会社化時における棚卸資産のステップアップ（連結時点の棚卸資産を、正味売却価額（売価から見積追加製造原価と見積販売直接経費を控除した金額）に評価替する会計処理）により6,707百万円の含み益を棚卸資産に計上しており、商品販売による棚卸資産の払出しに伴って当該含み益が売上原価として費用化されます。ステップアップにより認識した含み益の費用化は当社のキャッシュ・フローへの影響を伴うものでないことから、キャッシュ・フロー創出力を示す指標である調整後EBITDAの算出にあたり、当該影響額を足し戻す調整を行っております。

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注） 2. 上述のとおり、決算期（事業年度の末日）の変更に伴い、2021年12月期は2020年10月1日から2021年12月31日までの15カ月間の変則決算となります。このため、2021年12月期の対前期増減については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 2 社（社名） 株式会社Q-Partners及びキューサイ株式会社
 除外 1 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期4Q	109,782,686株	2020年9月期	93,153,322株
② 期末自己株式数	2021年12月期4Q	20,431株	2020年9月期	56,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期4Q	100,793,646株	2020年9月期	92,900,464株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項